



2月

誕生会

・・・鬼退治 豆撒きゲーム まとめてポイ！・・・

施設サービス課 田口 夕佳

3日「節分」4日は「立春」。今年は暖冬といわれていたにもかかわらず、立春過ぎの5日には東京都心部で8センチの積雪を観測。この時季は寒さが厳しく、早朝 マフラーや手袋とう防寒具が手放せない。〴〵春は名のための風の寒さや・・・と「早春賦」が思いだされます。奈良・東大寺のお水取り「修二会」が終了する迄は、まだまだ寒さが続く。虚弱高齢者は体が順応せず三寒四温の寒暖差に体調を崩し易く 充分に注意が必要。厚労省が食品ロスの観点から、予約を取ってから作るようにと言っているが、節分の恵方巻による食中毒が発生。島根県で120名、姫路でも36人が食中毒で体調不良者が発症。食中毒は 梅雨時と思う人が多いが、最近では年中発症し 充分に注意しなければならない

5日に誕生会を開催。前日の夕食には 対象者に食前酒が振舞われました。誕生者は以下の6名です。

石井	久榮	さま	昭和	3年生	96歳	内海	黎子	さま	昭和	5年生	94歳
森本	千穂子	さま	昭和	6年生	93歳	池崎	秀子	さま	昭和	6年生	93歳
熊野	廣子	さま	昭和	11年生	88歳	瀬尾	恵洋	さま	昭和	12年生	87歳

誕生者を紹介し、Happy Birthday を歌いお祝いをしました。各自に一言いただきました。内海さまは「楽しく毎日を過ごしています」と笑顔でおっしゃってくださいました。

『節分』といえば『鬼』。『鬼』から『鬼退治』が連想されます。仏教に於いて、鬼は煩惱や欲望を強く持つ人のところに住みつき、災いのもととなる存在と考えられてきました。そのため鬼を追い払う意味から節分の豆撒きが浸透したといわれています。

今回は 節分の気分を味わって貰えるように、赤鬼・青鬼に、おじゃみを投げもらう「豆撒きゲーム」をしました。ルールは段ボールで作られた鬼の面の下に段ボール箱を設置してあり、鬼に向かって、30秒間 おじゃみを投げて貰い箱に入った数を競うゲームです。2人ずつ『鬼は外！ 福は内！』と大声をだしながら おじゃみを豆に見立てて 豆撒きを行ないました。最初は 上品に1個ずつ投げていたの

